

大学入学共通テスト「出題方法・問題作成方針」再公表

河合塾

2020/1/29

このほど大学入試センターは、2021年1月に実施する大学入学共通テスト（以下、共通テスト）の問題作成方針と出題科目・配点・試験時間等を再公表した。詳細は以下の通りである。

■国語の試験時間は80分に戻る

共通テストの問題作成方針等は昨年6月に公表されていた。ところが、昨年末に記述式問題の導入見送りが決まり、国語と数学①については解答方法・試験時間を見直すとされた。今回発表された出題教科・科目、問題作成方針はこれを反映したものである。

国語の試験時間は100分から80分になった。記述式がなくなり、大問数は4問（200点）となった。このうち「近代以降の文章」が2問100点、「古文」が1問50点、「漢文」が1問50点の構成である。現行のセンター試験の試験時間・配点に戻った形となった。

なお、問題作成方針は記述式部分以外に変更はなく、以下のように示された。

言語を手掛かりとしながら、文章から得られた情報を多面的・多角的な視点から解釈したり、目的や場面等に応じて文章を書いたりする力などを求める。近代以降の文章（論理的な文章、文学的な文章、実用的な文章）、古典（古文、漢文）といった題材を対象とし、言語活動の過程を重視する。問題の作成に当たっては、大問ごとに一つの題材で問題を作成するだけでなく、異なる種類や分野の文章などを組み合わせ、複数の題材による問題を含めて検討する。

近代以降の文章では、センター試験では出題のなかった実用的な文章が出題される可能性があるほか、複数の題材による問題の出題なども予告されており、センター試験からの変化を感じるものとなっている。

■数学①は記述式が見送られても70分に

数学①の試験時間は70分のまま変更されなかった。記述式問題導入に伴いセンター試験時より10分延長されていたが、国語とは異なり、試験時間はそのままとなった。

以下は数学全体の問題作成方針である。

数学的な問題解決の過程を重視する。事象の数量等に着眼して数学的な問題を見いだすこと、構想・見通しを立てること、目的に応じて数・式、図、表、グラフなどを活用し、一定の手順に従って数学的に処理すること、及び解決過程を振り返り、得られた結果を意味付けたり、活用したりすることなどを求める。また、問題の作成に当たっては、日常の事象や、数学のよさを実感できる題材、教科書等では扱われていない数学の定理等を既知の知識等を活用しながら導くことのできるような題材等を含めて検討する。

数学についても記述式部分以外に変更はなく、試行調査で見受けられた新しい傾向の出題が検討されている。

■英語は大学入試英語成績提供システム導入見送りに伴う見直しはなし

英語については、昨年11月にすでに6月公表の内容から見直しはしないことが発表されていた。

センター試験からの変更としては大きく3点挙げられる。「リーディング」と「リスニング」の配点比は均等（各100点）となる（センター試験時の配点は筆記（200点）、リスニング（50点））。また、発音、アクセント、語句整序等を単独で問う問題は出題しないとしている。センター試験ではすべて2回読みとしているリスニングの読み上げ回数については、問題数の充実を図ることによるテストの信頼性向上を目的に、1回読みと2回読みの両方を含む構成となる。

2年目以降の共通テストの国語・数学の試験時間、大学入試英語成績提供システム導入延期に伴う英語の出題等については今年6月頃公表する予定としており、さらなる変更を含みをもたせた形だ。

【2021年度大学入学共通テスト 出題教科・科目・配点】

教科	出題科目	科目選択方法	解答時間	配点
国語	「国語」		80分	200点
地理 歴史	「世界史A」「世界史B」 「日本史A」「日本史B」 「地理A」「地理B」	最大2科目選択 (同一名称含む科目の組合せ不可)	1科目60分	1科目100点
公民	「現代社会」「倫理」 「政治・経済」 「倫理、政治・経済」			
数学	① 「数学Ⅰ」 「数学Ⅰ・数学A」	1科目選択	70分	100点
	② 「数学Ⅱ」 「数学Ⅱ・数学B」 「簿記・会計」 「情報関係基礎」	1科目選択	60分	100点
理科	① 「物理基礎」「化学基礎」 「生物基礎」「地学基礎」	A～Dの選択方法により科目選択 A：理科① 2科目 B：理科② 1科目 C：理科① 2科目 + 理科② 1科目 D：理科② 2科目	理科① 2科目60分 理科② 1科目60分	理科① 2科目100点 理科② 1科目100点
	② 「物理」「化学」 「生物」「地学」			
外国語	「英語（リーディング、リスニング）」 「ドイツ語」「フランス語」 「中国語」「韓国語」	1科目選択	英語 リーディング80分 リスニング30分 その他80分	英語 リーディング100点 リスニング100点 その他200点

- ・国語の出題範囲：「国語総合」の内容を出題範囲とし近代以降の文章、古典(古文、漢文)を出題
 - ・数学①の出題範囲：
「数学Ⅰ・数学A」の「数学A」は3項目（場合の数と確率、整数の性質、図形の性質）のうち2項目以上学習者に対応した出題とし、問題を選択解答させる
 - ・数学②の出題範囲：
「数学Ⅱ・数学B」の「数学B」は3項目（数列、ベクトル、確率分布と統計的な推測）のうち2項目以上学習者に対応した出題とし、問題を選択解答させる
- ※大学入試センター資料より作成

■大学への成績提供日は早まる

大学への成績提供の日程も記述式問題見送りに伴い見直された。私立大には2021年2月2日（火）から、国公立大には2021年2月4日（木）からとしている。また、国公立大の共通テストを課す総合型選抜および学校推薦型選抜については、2021年2月3日（水）からとしている。いずれも当初公表されていた日程から1週間前倒しになり、今年のセンター試験の成績提供日とほぼ同様のスケジュールとなった。

当初のスケジュールでは、多くの私立大の共通テスト利用方式の合格発表日が今春から1週間程度後ろ倒しになることが予想されたが、成績提供日がほぼ同様となったことで、今春並みのスケジュールとする大学が多くなるが見込まれる。

大学に提供される個人別成績データは、これまで通りの得点合計・科目別得点に加え、参考情報として科目ごとの9段階の段階表示と国語の大問別得点も提供される。